

活動名 おごおりウィークエンドアドベンチャー	団体名	おごおりウィークエンドアドベンチャー実行委員会
	地域	山口県山口市
	代表者	委員長 高橋 則彦
	支援金額	25万円
活動概要		
<p>小郡地域の小学校3校の4～6年生による年齢や学校を超えた班編成でさまざまな生活・自然・社会体験を通して、子どもたちの主体性や生き生きとした感性を育てることを目的として活動している。大人の「こだわり」と「遊び心」で、子どもの「自由な心」に触れてみませんかとボランティア指導者を募り、地域の隠れた「名人」「達人」を発掘し指導者として活動を行っている。</p> <p>◆実施時期 平成23年5月～平成24年3月 小郡地域交流センター、山口市小郡地域四十八川、山口県長門市油谷青年自然の家、山口県美祢市秋吉台、広島県山県郡北広島町西八幡原ハイランド191リゾート。</p> <p>◆参加人数 5月 入団式 97人 6月 水辺の教室&あゆのつかみ取り 102人 7月 カッター研修 100人 8月 あどべんキャンプ・ヨットイン秋穂(公共交通機関利用講座・ヨット教室・キャンプ体験) 106人 9月 あどべん国体きらめきプロジェクト 84人 10月 「ツールド秋吉台42 km」一鉄人になる1日 81人 11月 辰のデザイン&パームクーヘン作りに挑戦 75人 12月 笑いヨガ&松ぼっくり 79人 1月 新年の願いと夢をのせて! どんど焼き!! どんど焼き・もちつき・カルタ大会) 81人 2月 それゆけスキー少年少女 83人 3月 あどべん修了式&ぎょうぎづくり大会 79人</p> <p style="text-align: right;">参加総人員(延べ):967名</p>		



10月「ツールド秋吉台42 km」一鉄人になる1日



「それゆけスキー少年少女」



カッター研修 山口県長門市油谷青年の家にて



「あどべんキャンプ」キャンプのご飯っておいしい!

◆実施に伴う効果

助成を受けた活動の原資の主なもので、カッター研修では、学校・家庭の生活を離れ、美しい自然環境の中で自然を知り、自然に親しみ、自然を経験しながら海洋研修、野外活動等を通して、自主・協力・責任・友情・奉仕等の社会性を養うことができ、心身ともにたくましくなった。

地域の小学校の駐車場を利用した公共交通機関利用教室では、路線バスの基本的な乗り方や降り方、安全やマナー、バリアフリーなどの体験を通じ公共交通への理解を深めるとともに、心のバリアフリーへの理解を深めることとなった。

山口市秋穂の中道海水浴場でのキャンプ体験・ヨット教室では、海のない小郡の子どもにとってははじめてのヨット体験であり意欲的に取り組み、大学生のヨット部の指導者から海辺での安全確保、自然との協調姿勢など日ごろ学習できないことを学習でき、キャンプを通じ年齢や学校という枠をこえた相互理解を図るうえでも大きな成果がみられた。

スキー教室では、めったに雪の積もらない小郡の子ども達にとって初めての経験であり、大自然の思恵を受け安全やマナーを含め、スキー連盟の指導者から多くのことを学習した。

以上のような、年齢や学校を越えたあどべん班での年間の活動を通じ、あどべん団員は、友達や仲間を増やし地域のさまざまな生活体験や自然体験を通して、多くのことにチャレンジし自分らしさを見つける経験となった。

◆苦労した点

年間を通じ野外での活動が多く、雨天時の持参物を持ってきていない団員がいるなど、自然を通じた体験学習であるため実施の判断や中止した際の代替案、場所の確保等が必要であったこと。

ヨットの体験では、海という自然を相手にするだけに、安全の管理には十分な注意が必要であったため団員全員ライフジャケットを着用させ、監視船も用意した。また、夏季の活動であったため、水分補給及び体調管理に細心の注意が必要であった。

◆今後の課題・発展の方向性

準備品等で天候の状況により対応できるようアイデアはないか。

年間の活動を通じ、達成感や充実感を得られることを子どもたちが実感することができた。今後は、子どもたちが皆で力を合わせやり遂げることが、社会の貢献につながる活動についても検討していきたい。

◆活動を終えての感想・意見等

あどべん団員は、「季節の旬を生かす遊び」「やる気と元気で何でも挑戦」「出会いは宝物」「いい汗かいてわかる味」をモットーに年齢や学校をこえたあどべん班での活動で、ともだちや仲間を増やし地域の活動の中でさまざまな生活体験や自然体験を通してできるだけ多くのことにチャレンジして自分らしさを見つけることが出来たと思います。

このような、貴重な体験を味わうことが出来たのも、財団法人マツダ財団様のご支援をいただいたから出来たものであり、大変感謝申し上げます。